

九条の会・石川ネット ニュースレター

2011.2.10 発行

No.16

連絡先 / 〒920 - 0912 金沢市大手町9 - 29 社会法律センター気付

☎ 076-231-2110 <http://www.9jo-ishikawa.net/> E-mail office@9jo-ishikawa.net



今、なぜ9条なのか

加賀九条の会代表 木村勝保

年末から年始にかけて良い本に出合った。「終わらざる夏」上・下 浅田次郎（集英社）と「パール判事」中島岳志（白水社）の二冊である。

1945・8・15が終戦記念日なのにカムチャッカ半島から12キロの距離にある占守島（シュムシュ島）では国際法を破ったソ連との戦闘が15日以降に起き、日本軍の武装解除は8月26日であった。

著者の浅田は多くの資料を駆使して、この島での戦闘を余儀なくされた主要な人物の人生を織り込みながら、「戦争とは何か」「国家とは何か」「軍隊とは何か」を見事に炙り出している。

事実をいくら繋ぎ合わせても、人の心の奥深くには入っていかない。事実を結びつけながら、その背景にある真実を表現できたとき、人の心に何かが残る。

920頁に及ぶ大作を読み終えて、「戦争はすべきではない」との結論を小説の中に登場する人物像と重なって他者に伝えたい気持ちにかられた。

「パール判事」の著書からは、「戦争犯罪とは何か」とか、それを裁く国際法が未だ不十分であることを教えられた。彼が東京裁判で無罪を主張した根拠を著者は丁寧に読み解いている。そして、9条の理念こそガンディ主義と繋がっており、国際法の資格足りうとの主張は説得力がある。

私たちは、日々の学びの中で信念を太らせ鍛えていかなければならない。今、なぜ9条なのかの確信も学びを通して強化されていくものである。



輝け9条！ 許すな改憲！ 石川県民集会
2011年5月3日（火 憲法記念日）午後2時開会
石川県文教会館ホール
記念講演 / 小森陽一さん（九条の会・事務局長）
憲法漫談 / 「ナオユキ」（笑工房）

輝け9条！県民集会に350名が参加

2010年11月3日に「9条の会・石川ネット」主催の平和憲法公布64年を記念する憲法集会が教育会館で開催されました。約350名の市民が参加し、会場はいっぱいになるなかで、若手弁護士の川本樹^{たつき}さんの司会で集会が始まりました。

最初に、呼びかけ人を代表して五十嵐正博さん（神戸大学大学院教授）が主催者あいさつをおこない、特別講演をしていただく森口豁^{かつ}さんのプロフィールを紹介しました。森口さんは、1956年、18歳の時に沖縄に行きアメリカの施政下の沖縄を目の当たりにして衝撃を受け、このことを契機として大学を中退してジャーナリストとなられましたが、この話を聞いて、五十嵐さんは、「自分も米軍への怒りを感じてはいたものの沖縄に行つて何かしようとは考えてもいなかった、世の中にはこんなすごい人いるのか」とその行動力に驚いたという自身の体験を述べ集会をともに成功させようと呼びかけました。

続いて、「沖縄を語る会」主宰でジャーナリストである森口さんの「沖縄つなぎとめる記憶のために」と題して特別講演です。森口さんが1960年代に撮影した「米軍政下の沖縄の日常」の様子がスライド上映されました。民間地が「銃剣とブルドーザー」で奪い取られたため、米軍基地のフェンスの向こうにあるお墓に向けて手を合わせる老女たち。村の中を完全武装で行軍する海兵隊員。国道を我が物顔で走行する戦車。中城城址の城壁に軍靴で乗りこんで、「戦史研究」をおこなう陸自の幹部候補生たち。森口さんは「これらの光景はいまも何も変わっていない」と訴えます。続けて、ドキュメント作品「俺の鉄工所と安保」が上映されました。厚木基地近くの町工場に米軍のジェット機が墜落し、3人の子どもと鉄工所を奪われた館野さんを追った作品です。政府・防衛施設庁は館野さんの工場の土地を危険地域に指定して奪い取り、約束していた代替地（国有地）の払い下げも反故にしたのです。奥さんは精神錯乱で入院、二年後に離婚。館野さんは、工場の再建もままならず生活保護を受けながら裁判闘争を闘い続けています。まさしく安保条約によって国民生活が犠牲にされている姿が赤裸々に映し出されました。最後に森口さんは、「菅政権はかつての自民政権のプログラム通りに辺野古新基地建設を進めようとしている。絶対に止めなければいけない。沖縄の人たちの『基地はいらない』という意志は、名護市民投票や県民大会、市長選・市議会選、県議会の決議などで何度も示されてきた。われわれはこの思いに応えよう」と訴え、講演を締めくくりました。沖縄が抱える大きな矛盾と格闘する森口さんの熱いメッセージが参加者の心に染みわたったと思います。

次は、県下の九条の会からの報告です。「内灘憲法九条の会」代表の杉山雄二郎さんからは、



五十嵐正博さん



森口豁さん



杉山雄二郎さん



瀬端由紀子さん



9のつく日に横断幕やのぼりで憲法九条の大切さを訴えるサイレント活動や毎月一回公民館でアニメ映画「はだしのゲン」の上映会を継続しておこなっていることなどが報告されました。「城北クリニック・ふれあい はあとの会」の瀬端由紀子さんからは、看護、介護の職場で働いているため高齢者から戦争体験の話聞く機会が多いが、もう一度戦争をしたいという人は一人もいない。土日も祝日もない忙しい職場ですが、戦争の時代には戻り

たくないという思いを大切に、若い職員が感動できるような・そして政治や憲法を身近に感じるような活動を続けていきたいと述べました。

青年九条の会の西村結^{ゆい}さんと北村真実^{まみ}さんが集会アピールを提案し、参加者の拍手で採択されました（この集会アピールは政府と各政党にファックスで送付しました）。最後に、加賀九条の会の代表の木村勝保さんが森口さんの話を聞いて沖縄の基地の問題は私たちに突きつけられた問題であると思った、辺野古新基地建設に反対するために学習し行動していきたいと決意を述べ集会を終えました。



西村結さんと北村真実さんが集会アピールを提案

2010年 8月 22日

九条の会北陸ブロック交流会を開催



講演された小沢隆一
慈恵医大教授

2010年8月22日、北陸では初めての開催となる九条の会北陸ブロック交流会が金沢勤労者プラザで開催されました。石川、富山、福井の各県から約100人が参加しました。全体会では、小沢隆一・慈恵医大教授が「改憲の動向と9条の会の役割」と題して講演しました。午後は3つの会場に分かれて分散会を開催。各地でのとりくみを紹介し、今後の活動に活かしていくことを確認しました。

< 改憲をめぐる動き >

2010年

- 5月18日 改憲手続きに道を開く国民投票法施行
- 5月28日 日米政府は、米海兵隊普天間基地の「移転先」として、「辺野古崎地区およびこれに隣接する水域」とする共同発表を行う
- 6月23日 現行日米安保条約発効50年
- 7月16日 閣議でソマリア沖・アデン湾自衛隊の海賊対策活動1年延期を決定。アフリカ・ジブチの空港に「活動拠点」を建設
- 9月12日 名護市議選で定数27人中、新基地建設反対派が16人当選
- 10月14日 沖縄県議会が米海兵隊普天間基地目的地変更と訓練に関する抗議決議と意見書を全会一致で可決
- 10月15日 名護市議会「日米合意」の撤回を求める決議と意見書を可決
- 11月25日 北朝鮮が韓国・延坪島に砲撃
- 12月1日 日米共同統合実働演習
～11日 (韓国がオブザーバーで初参加)
- 12月17日 政府は「防衛計画の大綱」と「中期防衛力整備計画」を閣議決定。
- 12月20日 韓国軍が延坪島で砲撃訓練を実施
- 12月23日 韓国軍が大規模軍事演習

2011年

- 1月3日 民主党は、自衛隊の海外派兵恒久法制定や集団的自衛権の行使を容認に向けて今春までに党見解をまとめる方針。
- 1月14日 日韓防衛相会議で合同演習を継続することを確認
- 1月21日 前原外相とルースマ駐日大使が年1900億円規模の「思いやり予算」特別協定に署名
- 1月24日 国会で菅首相が施政方針演説。消費税増税、日米同盟深化、TPP参加をうちだす

第4次「防衛計画の大綱」について

弁護士 岩淵正明



昨年12月に新たに「防衛計画の大綱」が策定された。

経過としては、10月2日にアメリカで4年ごとの国防政策見直しが公表され、この中で中国を想定した戦略である「ジョイント・エア・シー・バトル構想」(空軍と海軍を一体として運用する作戦)がたてられていた。これを受け、菅首相の諮問機関である日米同盟重視派の懇談会報告が、10月8日に公表され、更にその後の防衛計画の大綱の策定であるので、この米軍戦略に沿う内容となっている。

具体的には、専守防衛の担保であり必要最小限の防衛力を保有するという「基盤的防衛力」の概念を放棄し、脅威対応型の「動的防衛力」へ転換し、「戦う自衛隊」に変貌した点がもっとも重要である。

そして、中国を意識した南西諸島の防衛力強化と北朝鮮の弾道ミサイルへの対処能力の向上が強調されている。

加えて、国連平和維持活動(PKO)参加5原則の見直しがうたわれている。自衛隊の海外派兵恒久法の地ならしといえる。

更に、武器輸出3原則の将来の見直しの可能性が示唆されている。日本も死の商人となろうとしている。

総じて、この大綱は、軍事優先の思想に貫かれており、自民党政権下でも成し得なかったタカ派的な内容となっているのである。

各地の九条の会からのお便り

9条の危機を直視して 九条の会・七尾

9月26日 発足5周年記念集会「鶴彬ころの軌跡」上映にちなんで広く募集した川柳を会場で掲示。

11月3日 「九七川柳」誌発行。川柳に託した平和への心を多くの人に伝えたい。

12月8日 3年続けてきた「12月8日は何の日？」街宣。二度と戦争を起こしてはならないと市民の皆さんに呼びかけました。

新防衛大綱で示された「動的防衛力」への転換は軍事力の増強を促し、“戦う自衛隊”へ変身させる。さらに有事に備え、「周辺事態法」をこの秋にも改正する動きが、「九条」はいつそう危機的な状況にさらされています。私たちはこれを直視し、市民の皆さんに訴えていきます。

今年は地元のいろいろな分野で活動しておられる方々の話を聞く会を持ち、その中でお互い繋がりを深め、活動の力にしていきたいと考えています。

加賀の「9の日行動」

加賀九条の会事務局長 佐藤公男さん

憲法九条・戦争・平和について若者たちといっしょに考えよう、そんな想いで一昨年から毎月一回、「9の日」にJR駅前宣伝を行っている。無人の動橋、特急停車の加賀温泉と大聖寺駅、早朝7時から約40分間、地元の中学生と高校生がほとんどです。チラシは、10代の若者向けに工夫しながら事務局が交替で担当。初めて参加したSさんの投稿記事「9条守れのチラシ配った」が朝日新聞に掲載された。元気をもらいながら、今年も「おはよう」「いってらっしゃい」「9条ってなんや」の声が駅前に響きます。

昨年2010年の活動報告

九条の会：金大ネット 梅田さん

2005年に発足した金大ネットの昨年度の活動内容を報告します。

年明け1月には、金大の数学教員で歴史にも造詣が深い半沢英一氏を講師として、「韓国併合100年と『坂の上の雲』と題する講演会を行いました。自著『雲の先の修羅：坂の上の雲批判』を拠り所に、日露戦争を祖国防衛戦争として描く司馬遼太郎の見解の欺瞞性が徹底的に暴かれました。

新入生を迎えての講演会は設立5周年記念集会を兼ね、弁護士の岩淵正明氏を講師として5月に「日米安保の現状 普天間基地問題を考えるためにー」と題して行われました。日米安保の歴史を辿った上で普天間基地は不要であり、安保条約自体を見直していく展望が語られました。

11月の大学祭では二つの講演会を開催しました。ジャーナリストの森口裕氏による講演会「兼六園に普天間基地を！」とノーベル賞受賞者の益川敏英氏による講演会「学問研究と平和憲法」です。益川講演会には多数の市民も参加し、軽妙洒落な語り口ながら平和に対する熱い思いが伝えられ、質疑も活発に行われました。



二〇一一年も
頑張りましょう

小立野・犀川ロード九条の会近況

事務局 川本さん

創立4周年を迎え、定期総会が去る10月15日に行われました。参加者それぞれの自己紹介や今取り組んでいること、九条への思いを語り合う場面もあり大いに交流を深めました。

総会では「沖縄普天間基地と土地収用」と題して、事務局の川本浩平さんよりまとまった報告がありました。住民合意がなく力づくで無理やりに沖縄の基地がつくられたことや、普天間基地の危険な実態などを、あらためて学ぶことが出来ました。

活動報告や会計報告は1年間の報告にとどまらず、会発足以来どんなことに力を入れてきたのか振りえる内容でした。笠舞3丁目交差点の「九条看板」が多くの人達に支えられていることや「9の日」に継続して実施しているサイレントアピールなどです。

会の活動が住民のみなさんの目に見えるところで展開されていることを強く感じました。

入会呼びかけ文の改訂も確認され、呼びかけやすく、またより主体的に地域で運動を進めていこうという内容になりました。次年度活動計画を確認、新任・再任を含む世話人を選出し総会は終了しました。

集まった顔ぶれの平均年齢はちょっと高めでしたが、熱気と安定感を感じさせる雰囲気での絆がさらに深まった総会でありました。

次年度活動計画では、お花見とうたごえの会、憲法記念日街頭宣伝、DVD映画「戦争をしない国日本」鑑賞会（あゆみ九条の会と共催）、津軽三味線演奏会 永村幸治さん菊川在住など、ニュース年4回定期発行、交差点サイレントアピール・毎月「9の日」、「9条看板」継続し掲示するなどです。

九条の会・石川ネット募金会計

(2009.1.1 ~ 2010.12.31)

<収入の部>		
No	科目	決算金額
1	募 金	1,314,250
2	剰 余 金	93,535
3	個人立替金収入	58,224
合計		1,466,009 円
<支出の部>		
No	科目	決算金額
1	運 営 費	199,830
2	活 動 費	100,780
3	宣 伝 費	88,625
4	新リーフ発行費	165,500
5	ニュース発行費	8,272
6	発 送 費	233,330
7	事務関係諸経費	112,255
8	雑 費	3,320
9	集会補填費	505,010
10	08赤字繰越費	4,442
合計		1,421,364 円
差引収支残高		44,645 円

次回の運営委員会のご案内

日時 / 2月19日(土)

午後1時30分~

場所 / 金沢勤労者プラザ

みなさん、ぜひご参加ください!

